

神奈川県版 第322号 2015年2月15日
全日本年金者組合中央本部
〒170-0005 東京都豊島区南大塚1-60-20天翔大塚駅前ビル
TEL.03(5978)2751 FAX.03(5978)2777
発行人 富田浩康 月刊1部100円 送料70円
昭和57年6月30日第三種郵便物認可

年金者 しんぶん

全日本年金者組合
神奈川県本部
〒231-0025 横浜市中区松影町2-7-12飯田ビル
TEL: 045-663-4061 FAX: 045-663-4062
メール: nenkinkanagawa@nifty.com
1月31日現勢 組合員 10,571人
機関紙 6,513部
100万署名(仮) 未集計

働き待ちつづけた年金
消費増税できない腹いせ

ひどい!
安倍政権

受給資格10年を先送り

25年に3年不足 無年金夫婦の怒り



吉田米子さん

横浜青葉区の組合員、
吉田毅・米子さん夫婦は
今、カンカンに怒っている。
年金加入期間が殺さん

年金加入期間が殺さん

「消費税が10%に出来
ないから先延ばしなんて
厚労省調べでは25年の
受給資格を満たさない無
年金者が17万人以上もい
るのです。」

「悲しい過
去も愚かな
行為も人間
はなぜ忘れ
てしまう? 愛するこ
とを躊躇わないでよ」

「ここは年金者組合に頑
向いて訴えます」

鬼のような対応だ。必
要な財源は300億円、
25年なんて世界では日本
年金保険料の積立金130
だけだ。

かつてジョン・レノ
ンが「想像してごらん
国なんて無いんだ 殺
す理由も死ぬ理由も無
くそして宗教も無い
みんながただ平和に生
きているってよ」と歌
った「イマジジン」もす
ごい歌だと思った。
節目の今年「いろん
な事情はあるけど互い
のいいところを知ろう
よ」そして「暴走」を
止め躍進をしようよ!
(妖光)

若い人も高齢者も
安心して年金を求め
る
若くして、健康が衰えたりする
高齢者の方で、年金受給が心配
な方も、若い方でも年金を求
めたいという声も出てきてい
る。年金制度は、これだけの大
変な時代だからこそ、年金を
求めている方が多いのだ。
年金受給資格が25年だと、
25歳から年金をもらえる。
年金加入期間が殺さん

消費税と切り
離せ 中央本部
厚労省に申入れ
年金者組合中央本部は
昨年末、厚生労働省に、
「年金受給資格10年」と
「年金生活者支援給付
金」について消費増税
と切り離し、一刻も早く
実施するよう申し入れま
した。

「若い人も高齢者も安心
できる年金を求める請願
署名」運動が、現役と一
緒に始めることになりま
した。集める署名の目標
は100万筆写真。
請願項目は①年金を毎
年下げ続けるマクロ経済
スライドを廃止して下さ
い②年金の支給年齢引き
上げ、保険料の納付義務
期間延長など、年金改悪
はやめてください③安心
の老後を保障するため、

「若い人も高齢者も安心
できる年金を求める請願
署名」運動が、現役と一
緒に始めることになりま
した。集める署名の目標
は100万筆写真。
請願項目は①年金を毎
年下げ続けるマクロ経済
スライドを廃止して下さ
い②年金の支給年齢引き
上げ、保険料の納付義務
期間延長など、年金改悪
はやめてください③安心
の老後を保障するため、

鬼のような対応だ。必
要な財源は300億円、
25年なんて世界では日本
年金保険料の積立金130
だけだ。

鬼のような対応だ。必
要な財源は300億円、
25年なんて世界では日本
年金保険料の積立金130
だけだ。

「年金裁判」に備え学習運動



一月の県本部執行委員
会で「年金裁判」の議論
をしました。

一昨年来、25%の年金
額連続引き下げに反対す

削減は憲法違反です

県本部書記長 鈴木久夫

「行政不服審査請求」
は、私たちの願いに反し、
をやり、却下されて「再
年金を引き下げ続けてい
る」審査請求。「20万直訴請
願」も取り組み、目標を
大きく上回って成功しま
した。しかし、安倍政権
で「年金引き下げは憲法

違反だ」と裁判すること
にしました。
中央本部では、裁判費
成が多数ながら、保留も
多く、県本部でも「いま
年金者組合の真価が問わ
れている」という意見と
ともに、「裁判にお金も
かかる充分討議して取り
組もう」などの意見もあ
ります。そのため、県、
支部での学習、討議を重
に進めています。

鬼のような対応だ。必
要な財源は300億円、
25年なんて世界では日本
年金保険料の積立金130
だけだ。

鬼のような対応だ。必
要な財源は300億円、
25年なんて世界では日本
年金保険料の積立金130
だけだ。

共同墓所2015年
春の墓前祭
4月16日(木)11時
南葉山霊園
会員には3月初めに
案内状が届きます

年金相談室 ☎045-663-4061
毎月第2火曜日 午後1時から4時
横浜市中央区松影町
2-7-12 飯田ビル 2F
ご利用のみなさんへ: ◆あらかじめ電話をいただければ幸いです。

組合共済・保険

先づの転ばぬ



□組織 □行事スポット □自転車 □火災 □交通災害 □自動車



「行事スポット共済」

白山登山、ヘリで搬送
サークルが保険加入

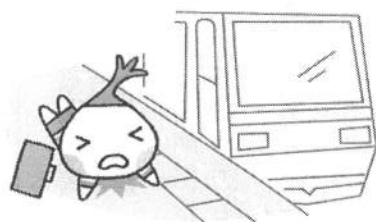


「本場に助かりました」
「白山の高山植物を見たくて」茅ヶ崎支部の早瀬さん、サークル「遊歩会」の北陸、白山登山に参加して転倒。救急ヘリで石川県の病院に搬送され2カ月余入院。大たい骨骨折でした。いまでは歩行も自由になりました。サークルが「行事スポット」に加入して

「転ばぬ先の杖」と言ったら年金者組合の共済・保険制度です。支

「交通災害共済」

ホームで駆込み客追突
4カ月の半月板骨折



京急ホームで電車待ちの横浜みなみ支部、若林美代子さんに、駆け込み乗車をしようとした男性が追突。左ひざ半月板骨折。4カ月の治療でした。1年後のいま「何ともない」と若林さん。「早く対応してくれ、大助かり、有りがたくって」

「組織加入共済」

加入忘れていました
事故1年後に申請

横須賀支部の元支部長、山田良夫さん(90歳)が「年金者しんぶん」配達中に転倒し、手首を痛めたのは1年前。山田さんも周囲も「組織共済」に加入していたことを失念

の大貫多喜子さんは言います。「すぐ来て、すぐ手続き、すぐ保障」「金額も文句なし、組合の火災は一番」。

「自転車保険」

転倒した孫も使えた
家族型保険



「火災共済」
すぐ来て、すぐ手続、すぐ保障
マンションの階上から水漏れ。横浜みなみ支部

「自動車共済」
美津枝さんのお孫さん(高校生)が自転車で転倒。幸い「家族型」の保険に加入していたので、通院日数分の保障がおりせん。ご注意ください!!

七福神巡り



「七福神巡り」をしています
「七福神巡り」をしていますが、今年も馴染みのある戸塚区を選びました。完歩の感想としては「一年のスタートができた」の声がありました。来年も賑やかに歩きます。(山本喜康)

長谷川径弘の 神奈川の 地酒今昔



前回案内の秦野「どぶろくまつり」は、今年22回目になります。03年の第10回と05年の第12回「秦野市制50周年」取材から早10年。当方は卒業。「光陰...」の感ありです。
NPO法人「四十八瀬川自然村」が収穫した酒米で金井酒造(秦野市)が醸造(特区)した「どぶろく」を、御嶽神社境内(同市)で味う昔風の行事です。竹筒の杯と

御嶽神社境内で味う昔風



6日に秦野駅前と7日に沢駅前で、試飲会の予定です。(横浜西支部)

葦の箸でどぶろくとおでんを味わう。かたわらに焚火が。やきとりにあんころ・からみ餅。ポン煎餅も出るかも。

広場に和太鼓が鳴って、天狗とおかめが獅子をあやす。借り物なしの村祭りです。「どぶろくまつり」は、3月1日に御嶽神社で。

神奈川年金者文芸

- (俳句) 光りの矢猫も染まりて初日の出 愛川支部 白井 信子
- 鉄瓶の静かな音や冬深む 愛川支部 中村 善人
- 国民総エコノミストか去年今年 逗葉支部 長谷川幸生
- 庭に立ち白きお降り手に受けぬ 逗葉支部 熊谷 直子
- 初詣賑はふ歩道に人力車 逗葉支部 長谷川紀美子
- 木枯らしや淋しさまして床に入る 三浦支部 葛浦つや子
- バス窓はるか遠くに雪の富士 三浦支部 藤田 康雄
- 活けられて露の残るや冬の菊 三浦支部 佐原 ひさ
- (川柳) 新党の核分裂や夢芝居 秦野支部 雄 一郎
- 挨拶は先ずは選挙の結果から 秦野支部 義 雄
- 神風だ円安不況に原油安 旭支部 毛利やすひこ
- 初日の出寝床で仰ぐ果報者 愛川支部 田辺 弘己
- わが財布孫の重さで軽くなり 愛川支部 衛藤 佳也
- 科学者も教授も捏造の流行り風邪 愛川支部 廣井 瑞枝

重視してきた 町との要求交渉

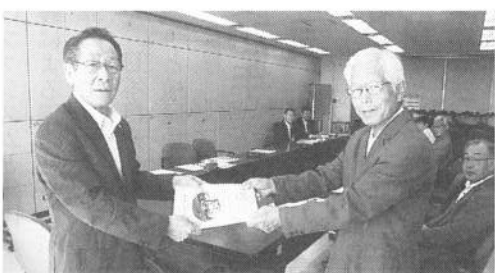
愛川年金者の会(下)

「このたびの春日台病院の閉鎖問題で奮闘されていることに敬意：問題の大きさや期限に限りがあることなど困難が伴いますが町民の町当局の医療への取り組みへの期待に込めていただきます」

中での激励要請であったので、庁舎の中で一時大きな話題になったそうです。
「愛川年金者の会」結成以来、愛川町との懇談を行い具体的要求の要請書を提出してきました。「かなちゃん手形」の導入、肺炎球菌ワクチン接種補助、高齢者施設の椅子、機の軽量化、その他多くのことが実現しました。町民活動サポーターセンターへの団体登録が実現し、現在公民館の外履き入館が「試行」の段階に入っています。大小いろんな問題に取り組んでいます。町との懇談は町民への信頼、加入の訴えにとつてはおおきな武器になります。

「七福神巡り」をしていますが、今年も馴染みのある戸塚区を選びました。完歩の感想としては「一年のスタートができた」の声がありました。来年も賑やかに歩きます。(山本喜康)

今後のこの取り組みを継続していきます。この2年余りの間に主要な会長、副会長3人を病气その他の理由で失いました。低迷からの回復をめざし毎月地域に新聞、ビラの配布を行っています。(野尻 治)



(野尻 治)